

# 全旅連の事業と今後の活動方針

## 亀岡勇紀専務理事に聞く

全国約1万5千軒が加盟する宿泊業界最大の組織「全旅連」(全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会)。業界を取り巻く諸問題の解決に、井上善博会長(福岡県・六峰館)を中心に、役員や各メンバーが日夜動いている。事務局トップの亀岡勇紀専務理事に最新の動きと今後の方針を語ってもらった。

### 事業の振り返り

専務理事就任から間もなく2年だが、これまでの振り返りをお願いした。それは旅館・ホテルに関する団体が多いせいもあるかもしれないが、いざいにして、「全旅連」の知名度の向上がまず大事だと考えた。

そのため、全旅連を所管する厚労省だけでなく、観光庁をはじめ、文部省、総務省など、さまざまな関係省庁に顔を出し、関係団体の会合にも厚労省の枠を超えて参加するようにしてきた。

## 事務局体制が徐々に整う

### 地道な活動で業界の諸課題解決

「平河町に全旅連の事務所もあるので、今や多くの国会議員をはじめとする関係者、関係省庁の人たち、マスコミの皆さんも毎週のように訪れたい。意見交換ができています。」

井上善博会長の就任以来、宿泊業界の課題について、一定の成果を出してきたと自負している。

例えば、国民スポーツ大会において、平河町に全旅連の事務所もあるので、今や多くの国会議員をはじめとする関係者、関係省庁の人たち、マスコミの皆さんも毎週のように訪れたい。意見交換ができています。

井上善博会長の就任以来、宿泊業界の課題について、一定の成果を出してきたと自負している。

例えば、国民スポーツ大会において、

### 今後の活動方針

「今、亀岡専務の感じている全旅連という組織が抱えている課題についてお聞きしたい。」

この2年間で全旅連組織改革は進んだと思うが、一方で、まだまだ組織として不成熟な部分があるという現実を謙虚に直視したい。

一つ例を挙げさせてください。ある災害対応に関する国の調査を全旅連で行った。FAXで直接



「全旅連の最大の強みは、業界最大の組合員数ということでもあり、それを生かすような組織づくりが大切。一方で、数だけ多くても何の意味もない。一人一人の組合員がしっかりと業界全体のことを考えて活動し、47都道府県、各旅館組合がそれぞれ、さらには全国組織である全旅連がそれをまとめる。そういった組織のガバナンスをしっかりと確保したい。」

## 組合員一人一人のために

### 政策立案、地域の宿を支える

「全旅連の事務局の改革は、もう半年以上前から進められている。各都道府県組合、その理事長の代表で、何となく、令和7年度中に対応したいと考えている。」

「全旅連の事務局の改革は、もう半年以上前から進められている。各都道府県組合、その理事長の代表で、何となく、令和7年度中に対応したいと考えている。」



事務局のオフィスを一新。業界の会合ほか一般への貸し出しも見えるよう、会議室を100人収容規模に拡充した。

「井上会長、そして亀岡専務が就任して以来、全旅連としてさまざまな成果を上げるとともに、職場の雰囲気も明るくなったと思う。亀岡さんが全旅連専務として心にかけていること等をお聞きしたい。」

「私自身が元々の宿泊観光業界に旅館の家に生まれたというように縁があるわけではないが、日々勉強だと思いつつ、積極的に地域に貢献したい。関係者の皆さまからいろいろと教えていただいている。また、全旅連という非常に歴史のある組織の専務理事として仕事をしたい。この新しい全旅連の組織のあり方に魅力を感じていただけたら、4月以降は職員も徐々に増え、今や10名を超す職員で全旅連の組織運営をしているところである。先ほどお話ししたように、こうした中、最高峰での着地という成果を出すことができたい。」

「全旅連の最大の強みは、業界最大の組合員数ということでもあり、それを生かすような組織づくりが大切。一方で、数だけ多くても何の意味もない。一人一人の組合員がしっかりと業界全体のことを考えて活動し、47都道府県、各旅館組合がそれぞれ、さらには全国組織である全旅連がそれをまとめる。そういった組織のガバナンスをしっかりと確保したい。」

「全旅連の最大の強みは、業界最大の組合員数ということでもあり、それを生かすような組織づくりが大切。一方で、数だけ多くても何の意味もない。一人一人の組合員がしっかりと業界全体のことを考えて活動し、47都道府県、各旅館組合がそれぞれ、さらには全国組織である全旅連がそれをまとめる。そういった組織のガバナンスをしっかりと確保したい。」

「全旅連の最大の強みは、業界最大の組合員数ということでもあり、それを生かすような組織づくりが大切。一方で、数だけ多くても何の意味もない。一人一人の組合員がしっかりと業界全体のことを考えて活動し、47都道府県、各旅館組合がそれぞれ、さらには全国組織である全旅連がそれをまとめる。そういった組織のガバナンスをしっかりと確保したい。」

「全旅連の最大の強みは、業界最大の組合員数ということでもあり、それを生かすような組織づくりが大切。一方で、数だけ多くても何の意味もない。一人一人の組合員がしっかりと業界全体のことを考えて活動し、47都道府県、各旅館組合がそれぞれ、さらには全国組織である全旅連がそれをまとめる。そういった組織のガバナンスをしっかりと確保したい。」

## 温泉文化



### ONSEN

bliss of Japan, nature, culture

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会(全旅連)は、「温泉文化」のユネスコ無形文化遺産登録を応援しています!

「ONSEN」を世界共通語に  
日本全国でおおよそ3000か所の温泉地が、脈々と紡いできた温泉文化。私達はその価値を国内外に広め、「ONSEN」を世界共通語とすることを目指していきます。

ユネスコ無形文化遺産登録へ  
ご署名のご協力お願い致します



チェックイン、チェックアウト時にお客様へ署名の協力依頼をお願いいたします。

詳細は各都道府県の旅館ホテル組合にお問い合わせください

署名用紙のダウンロードはこちら!

